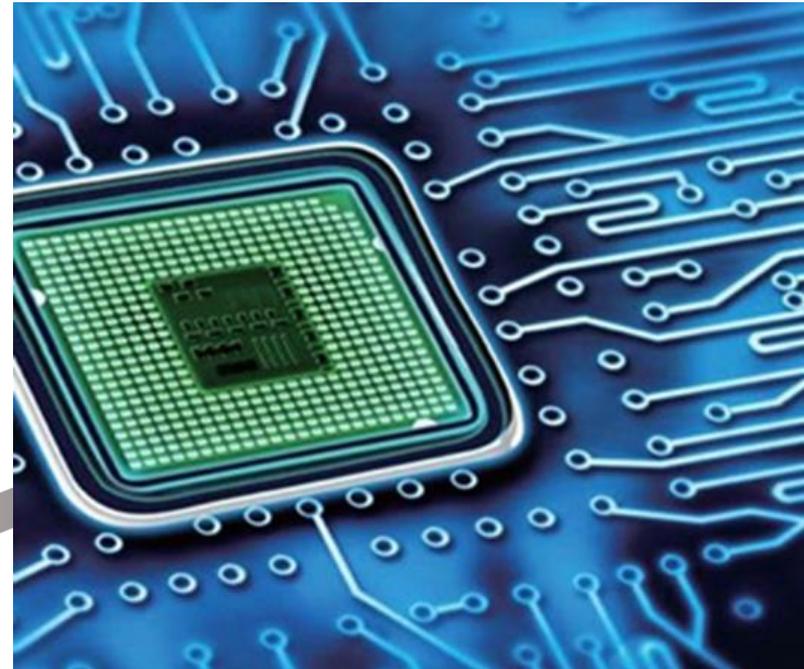


中期経営計画
(2019年 4月-2022年 3月)

進捗と今後の見通しについて

2021年 7月 13日



株式会社 図 研

東証一部上場 証券コード 6947

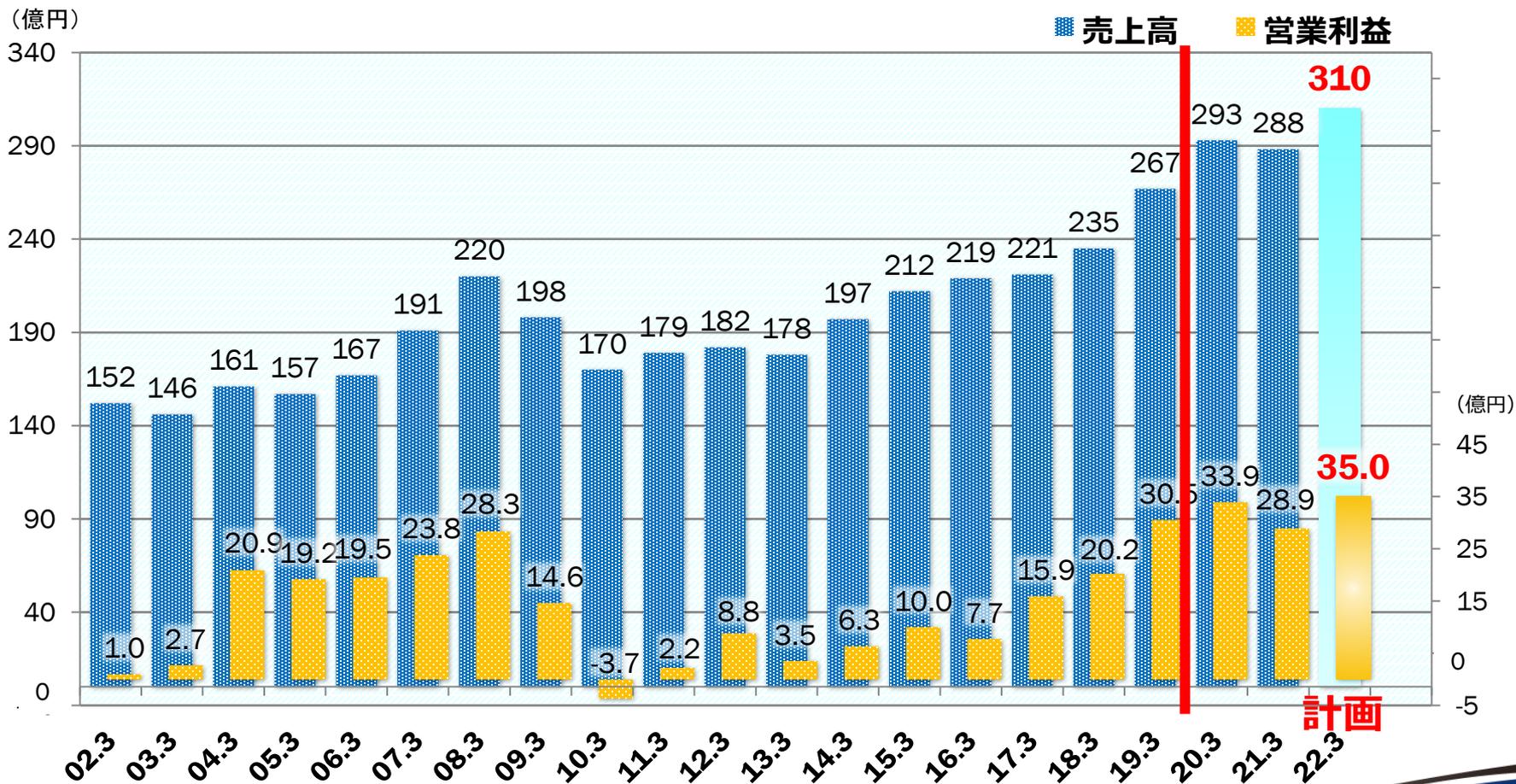
2年目までの実績と 最終年度の見通し

2年目までの実績と最終年度の見通し（総括）

- ① 世界的な市場の混乱、営業活動の制限はあったものの、底堅いイノベーション投資と設計業務環境強化への投資で、2年目の減収減益幅は最低限にとどまる
- ② 昨年末より、北米、中国での経済活動本格化が、国内市場にも波及しつつあり、3か年計画最終年度は徐々に元の成長軌道に復帰
最終年度は売上・利益ともに過去最高を見込む
- ③ MBSE（モデルベースシステムズエンジニアリング）事業は、最終年度、本格事業展開のための総仕上げ

業績の推移 (2002-2022計画)

売上高・営業利益

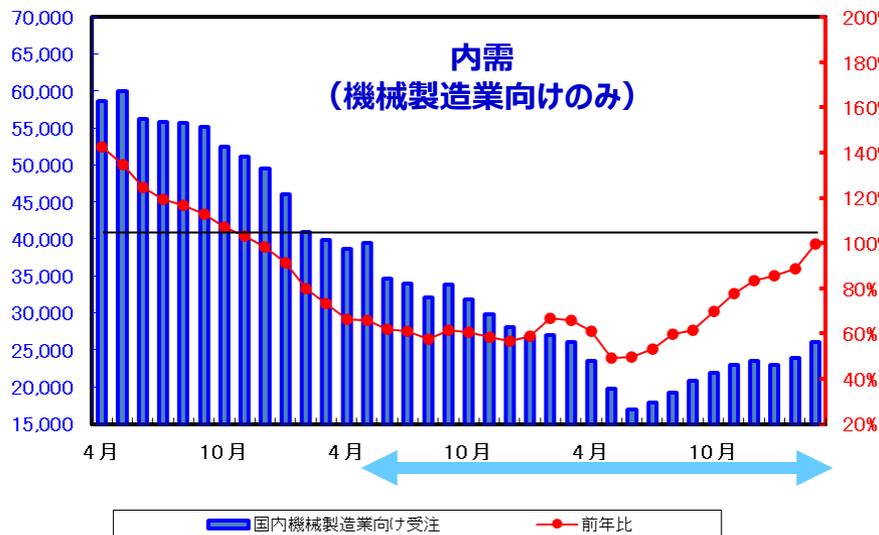


最終年度は、売上高・営業利益ともに過去最高を見込む

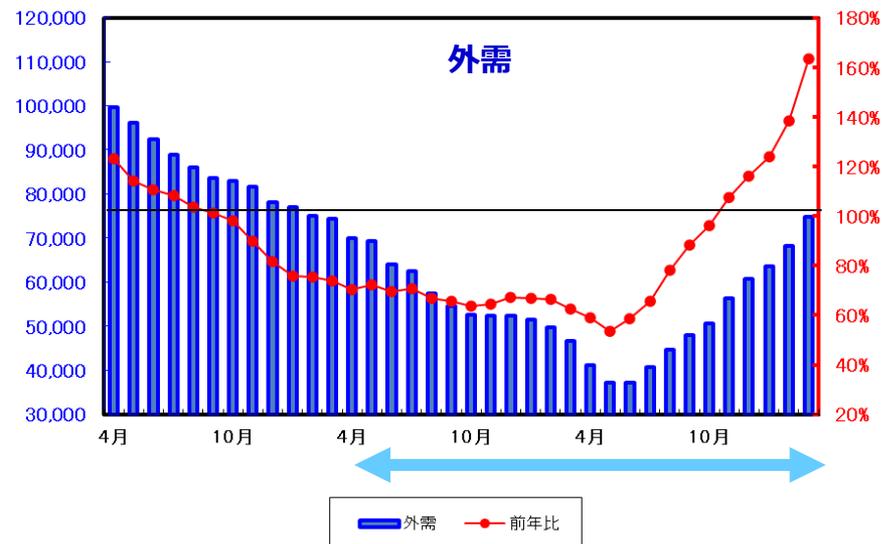
製造業の設備投資動向

工作機械受注統計（3か月移動平均）

百万円

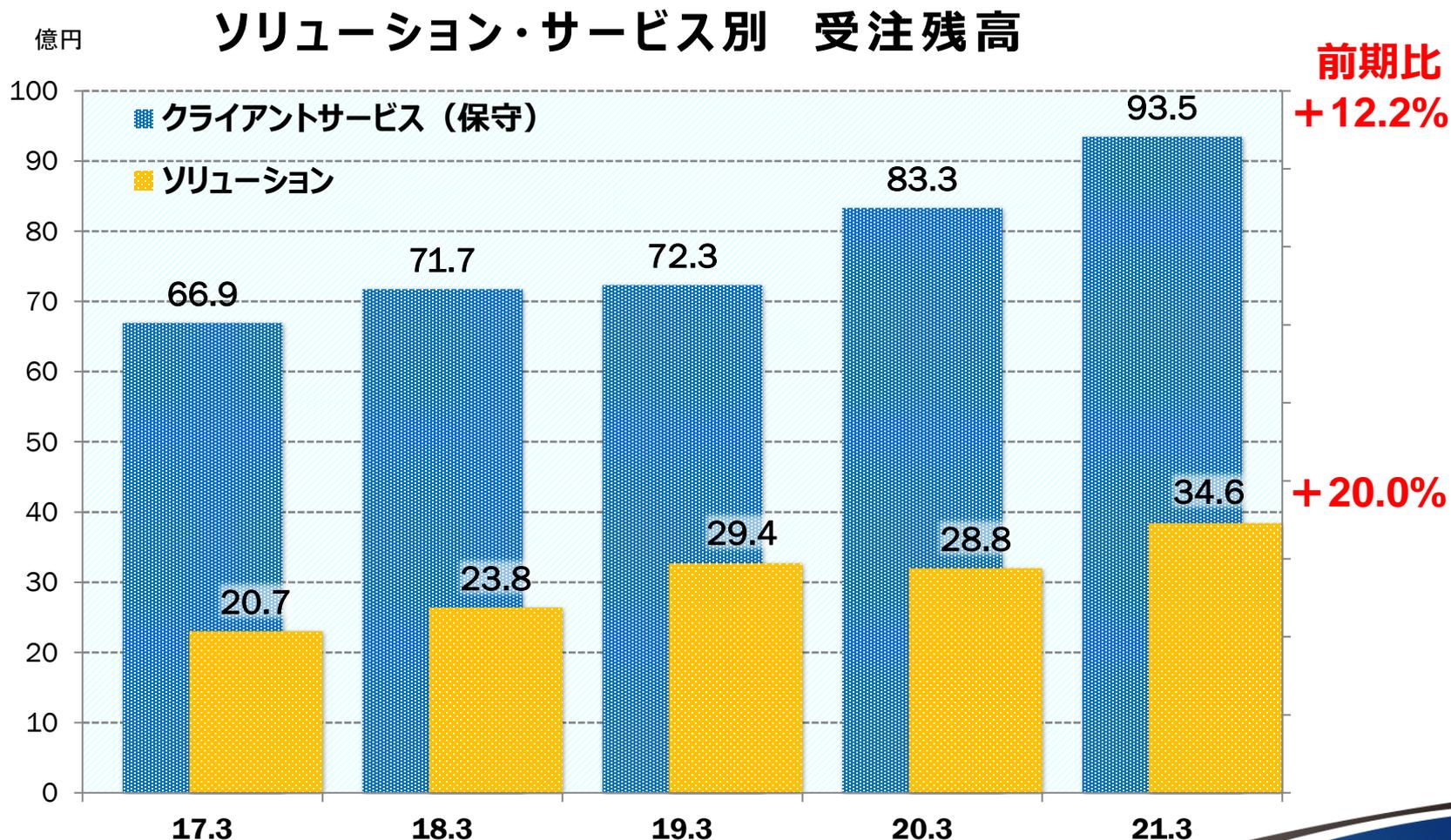


百万円



**外需は昨年末から対前年同月比でプラスに転換
内需も4月以降プラスに**

受注残高の推移 (2017-2021)



受注残高の水準は過去最高で最終年度に臨む

製品分野別 受注残高

受注残高 (百万円)	20.3	21.3	増減	前期比
基板設計ソリューション	812	835	+23	+2.9%
回路設計ソリューション	1,084	1,430	+345	+31.9%
ITソリューション	983	1,190	+206	+21.0%
クライアントサービス	8,331	9,346	+1,015	+12.2%
計	11,211	12,803	+1,591	+14.2%

すべてのソリューションで、前期受注残高を上回る

地域別 受注残高

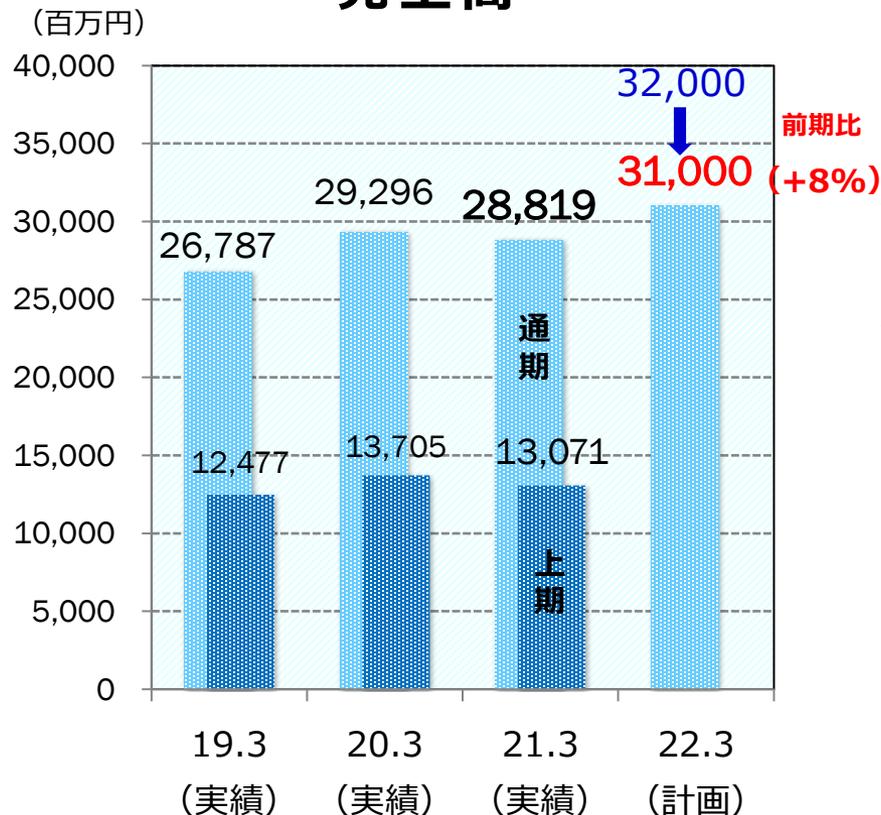
受注残高 (百万円)	20.3	21.3	増減	前期比
日 本	7,662	8,913	+1,250	+16.3%
欧 州	1,685	2,015	+330	+19.6%
米 国	1,424	1,339	▲84	▲5.9%
ア ジ ア	439	534	+94	+21.6%
計	11,211	12,803	+1,591	+14.2%

米国減：昨年的大型受注による影響

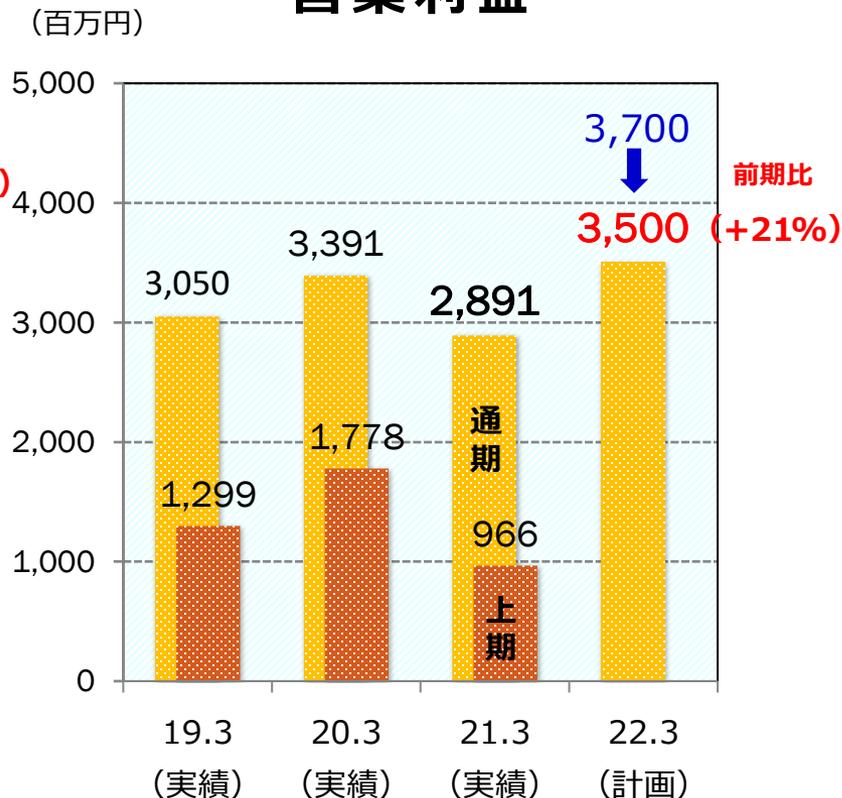
事業分野別の実績と 見通しについて

中期売上・利益目標とこれまでの実績

売上高



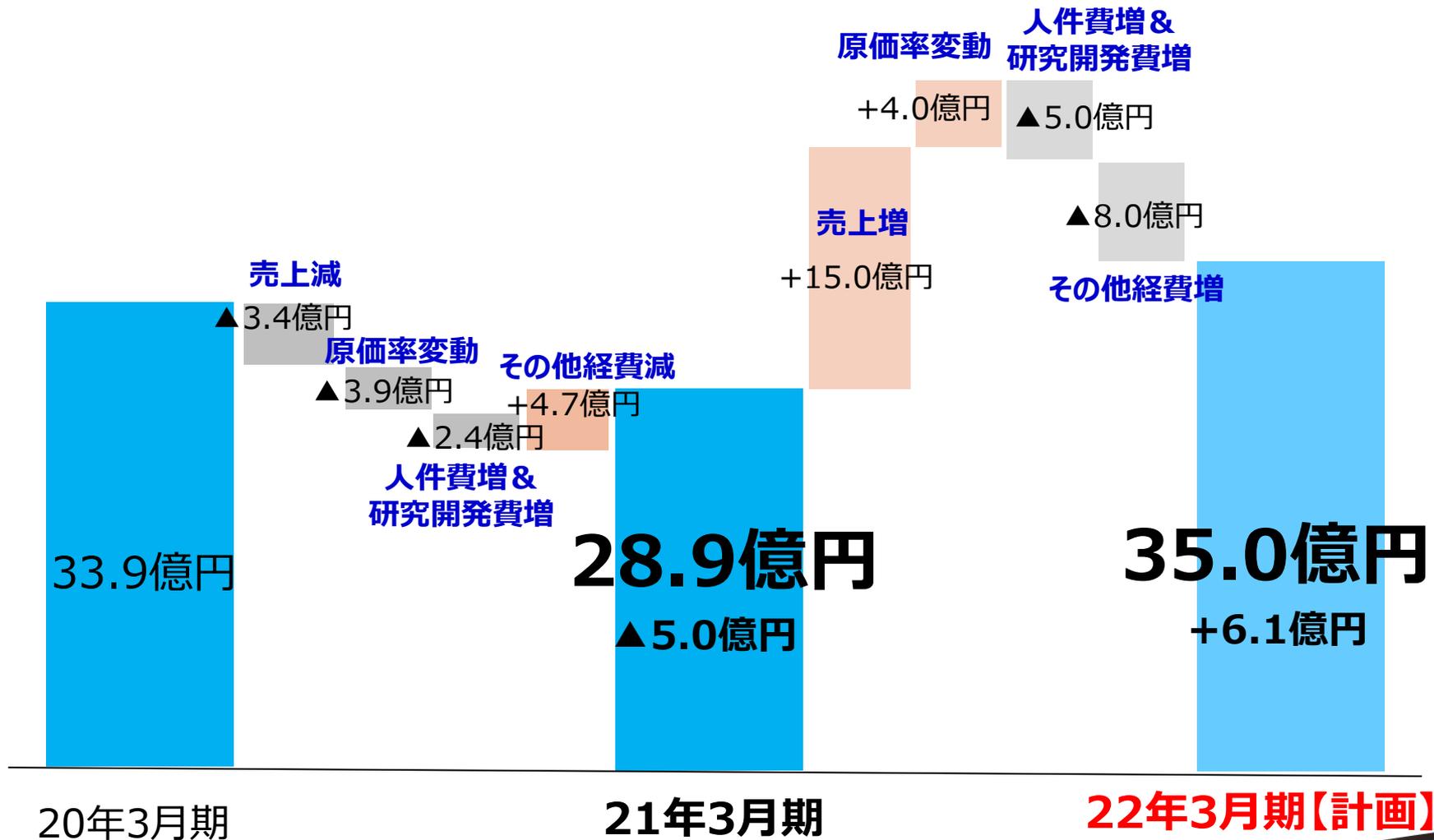
営業利益



※ 中期経営計画の前提為替レート 1USDドル=103円 1ユーロ=125円

最終年度は、当初計画値より下方修正するも、
売上・営業利益とも高い伸びを計画

営業利益増減要因と最終年度見込み



【参考】ソリューション別 販売実績

売上高 (百万円)	20.3	21.3	増減
基板設計ソリューション	4,782	4,248	▲534
回路設計ソリューション	7,361	5,926	▲1,435
ITソリューション	6,193	7,042	+849
クライアントサービス	10,959	11,602	+643
計	29,296	28,819	▲477

デザイン
・オートメーション

データマネジメント

クライアントサービス
は上2つに分類

【参考】製品区分について

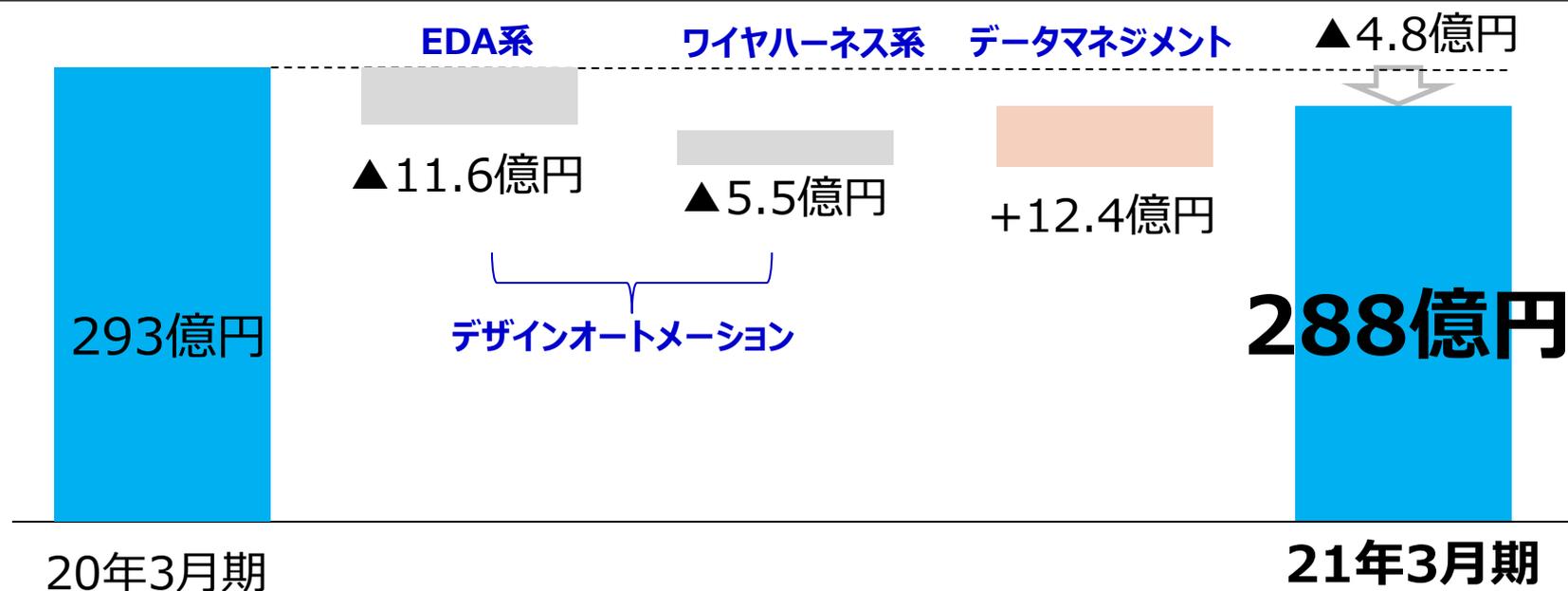
【各製品区分に含まれる主な製品】

短信等での製品区分	含まれる主な製品
デザインオートメーション 基板設計ソリューション	CR-8000 Design Force CR-8000 DFM Center CR-5000 Board Designer
プリント基板	
回路設計ソリューション	CR-8000 Design Gateway CR-8000 System Planner E3.series Cabling Designer Harness Designer
ワイヤハーネス	
データマネジメント ITソリューション	DS-2, Visual BOM Knowledge Explorer Fortigate (NWセキュリティ)
上記各分野に振分け クライアントサービス他	(各製品の保守サービス)

製品分野別 販売実績と前年対比

製品分野 (百万円)	20.3	21.3	増減	
デザイン・オートメーション	19,447	17,730	▲1,717	▲8.8%
(内、ワイヤハーネス設計)	(5,463)	(4,908)	▲555	▲10.2%
データマネジメント	9,848	11,089	+1,240	+12.6%
売上高 計	29,296	28,819	▲477	▲1.6%

製品分野別 販売実績



EDA (電子機器設計)

- Q4にやや持直すも、不安定な市場環境によるプロジェクトの停滞が最後まで影響
- 自動車関連、電子部品などを中心にイノベーション目的の投資意欲は底堅い

ワイヤハーネス設計

- EDAに比べ中小ユーザが多く、不安定な市場環境による影響がより顕著
- 工場向けDXソリューションは今後市場拡大が期待されるが現状は動き鈍い

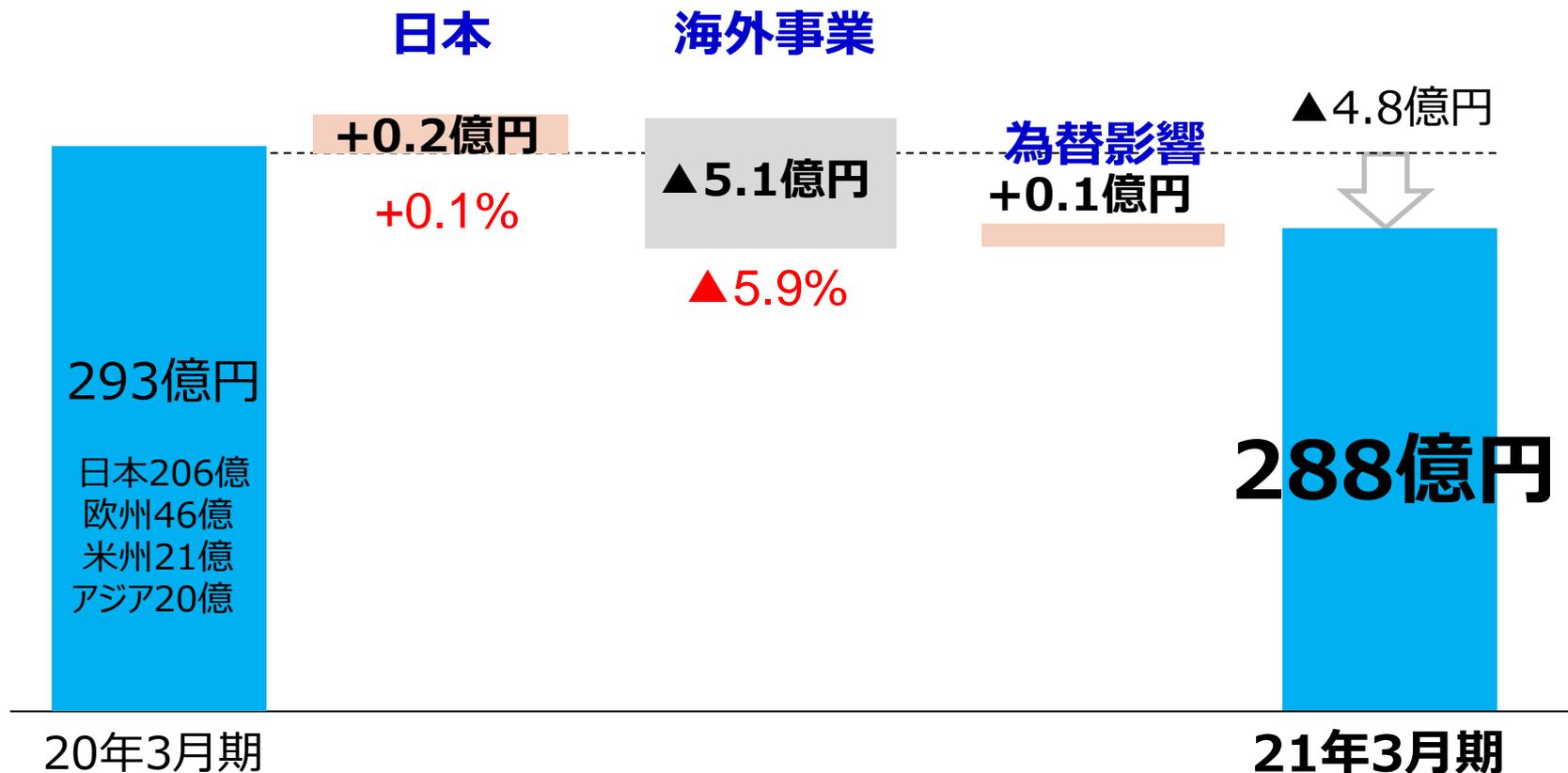
データマネジメント

- PDM製品、セキュリティ関連ソリューション（関係会社取扱）は、コロナ下の状況でむしろ需要にプラスの影響
- 設計環境強化の重要性認識が高まる

海外事業 販売実績

20.3期累計期間の平均為替レート 1USD=109円 1ユーロ=121円

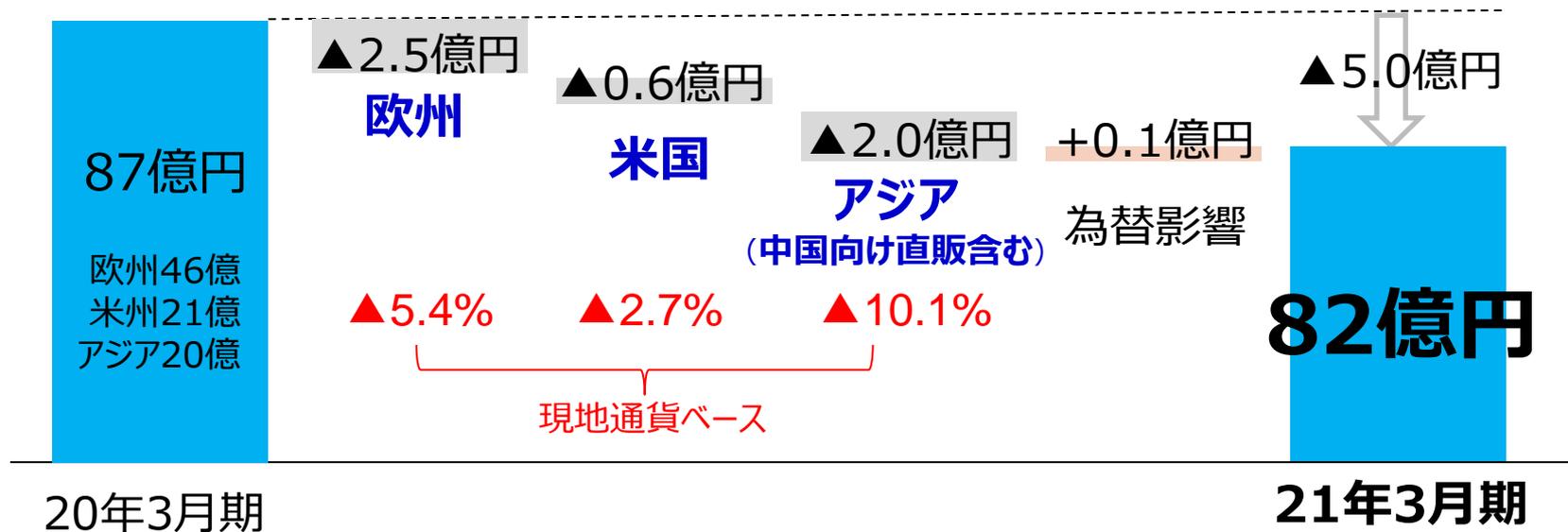
21.3期累計期間の平均為替レート 1USD=106円 1ユーロ=124円



海外地域別 販売状況

20.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル=109円 1ユーロ=121円

21.3期累計期間の平均為替レート 1USDドル=106円 1ユーロ=124円



欧州

- 終盤やや持直すも、多数のプロジェクトで中断、遅延が発生
- 産業機械分野での新規受注活動も停滞

米国

- 新規受注獲得は停滞するも、TBL案件増加により収益は安定
- 昨年度の大型受注分はカバーしきれず
- 買収したVitech社の売上も貢献

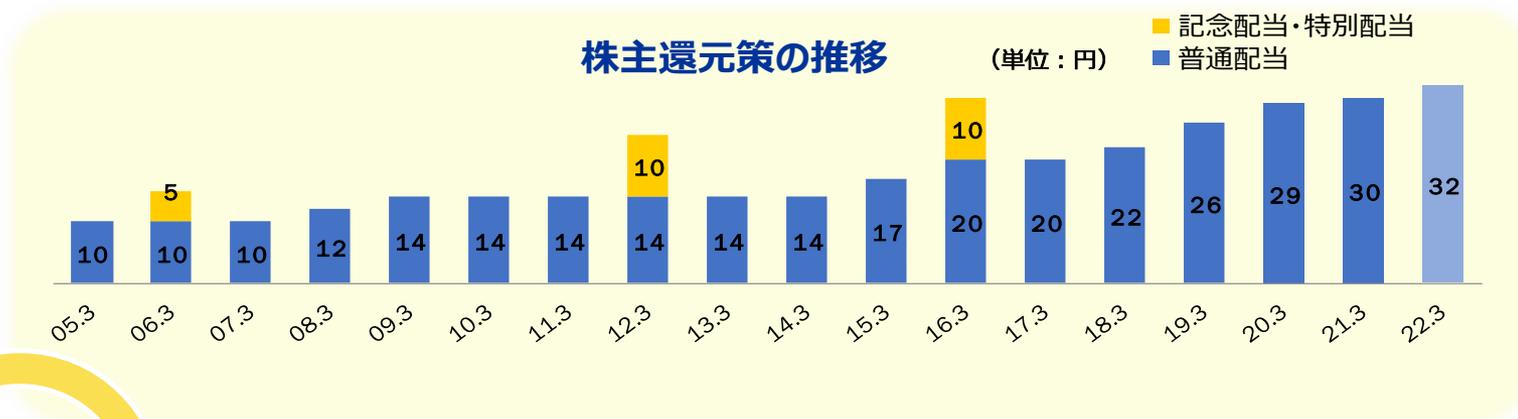
アジア

- 台湾を除き、各国ともに販売活動は低迷 特にインドは厳しい状況続く
- 中国・韓国・台湾などを中心に経済活動回復の兆しあり最終盤で回復基調に

事業分野の今後の見通しについて

- 主要顧客の設計高度化・最適化の投資意欲は世界的に回復見込み → **デザインオートメーション**
- 「働き方改革」、「DX」など、現下の状況によって加速するIT需要も引き続き堅調を見込む → **ITソリューション**
- MBSEソリューションの本格的な国内拡販、自動車電装用E/E（電子・電気）設計新製品投入など、今3か年計画の総仕上げ、かつ次の成長戦略につなげる最終年度に

利益還元の方針



成長投資

安定的な
利益還元

健全な
財務基盤

- 1987年の上場以来、年換算で1株当たり10円以上の配当を継続
- 2008年以降、段階的に増配を実施し、2021年3月期の期末配当は15円となり年間30円の配当
- **2022年3月期は年間32円を予定**
- 業績や経営環境等を勘案し、適宜、最も効果的な株主還元策を実施

「累進的配当政策」を実行・継続

図研について 【ご参考】

図研グループのDX特設ページ
<https://www.zuken.co.jp/dx/>

ZUKEN DX

Digital Transformation

図研グループのデジタルトランスフォーメーション

NEW



『図研DX』はデジタルで創る！技術伝承をDXするプラットフォーム

図研×図研公式サイト



リモート環境での社員の安全・健康管理を支援！

図研ネットウェイブ



隠れた情報資産をナレッジとして活用！

図研公式サイト



EMC設計・製 learningセンター

図研デック



図研について



株式会社 図研 (ZUKEN Inc.)

設立： 1976年（昭和51年）12月17日

資本金： 101億1,706万5千円

従業員： 単体426人 連結1,445人
(2021年3月末現在)

東証1部上場 (証券コード6947)

- 世界市場でシェアを持つ
日本のエンジニアリング ソフトウェア・ベンダー
- EDA業界で40年以上の歴史
(健全な財務基盤を維持)
- 自社開発に加え、提携、M&A等で機動的に技術を獲得

沿革

1976.12	(株) 図形処理技術研究所として設立	2009.06	PLMソリューションの新製品「PreSight」を発表
1978.06	国産初のプリント基板設計用CAD/CAMシステム「クリエイト2000」を開発	2010.05	ラティス・テクノロジー (株) と資本提携、トヨタ自動車 (株) に次ぐ第二位の株主に
1983.11	米国にZuken America Inc. (現・Zuken USA Inc.) を設立	2011.06	BOMと超軽量三次元フォーマットXVLを統合した「visual BOM」を発表
1988.01	CADの新システム「CR-3000」を開発	2011.01	次世代電子機器設計システム「CR-8000」を世界同時発表
1991.10	EDA企業として初めて株式を東証2部に上場	2013.09	アメリカ、シリコンバレーにZuken SOZO (創造) Centerを開設
1992.01	ドイツにZuken Europe GmbH (現・Zuken GmbH) を設立	2014.08	ドイツにグローバル・オートモーティブ&トランスポーターション・コンピテンス・センターを開設
1992.01	韓国ソウル市にZuken Korea Inc.を設立	2014.12	東洋ビジネスエンジニアリング (株) (現・ビジネスエンジニアリング (株)) と資本業務提携
1992.08	シンガポールにZuken Singapore Pte. Ltd.を設立	2015.02	(株) ダイバーシクを設立
1994.04	EDA垂直統合ソリューション「CR-5000」を開発	2015.03	インドにZuken India Private Limitedを設立
1994.06	レーカル・リダックグループ (11社) (英) の全株式を取得	2015.07	(株) ワイ・ディ・シーの「CADVANCE事業」(電気系CAD・PDM関連事業)を継承
1994.09	東証1部へ指定替え	2016.04	プリサイト事業部を分社化し、(株) 図研プリサイトとして発足
2000.03	インケイシス社 (独) の全株式を取得	2017.12	アルファテック (株) (現・図研アルファテック (株)) の全株式を取得
2002.03	自動車用ワイヤハーネス設計環境の提供開始	2019.08	Vitech Corporation (米) (現・Zuken Vitech Inc.) を全株式を取得
2002.06	中国上海市に上海テクニカルセンターを設立	2019.10	図研モデリンクス (株) を設立
2004.02	E&E業界に特化したPLMソリューション「ePLMプラットフォームDS-2」発表		
2005.08	台湾にZuken Taiwan Inc.を設立		
2006.05	CIM-TEAM社 (独) を買収		
2007.06	CATIAV5をベースとした「V54EE」を発売		

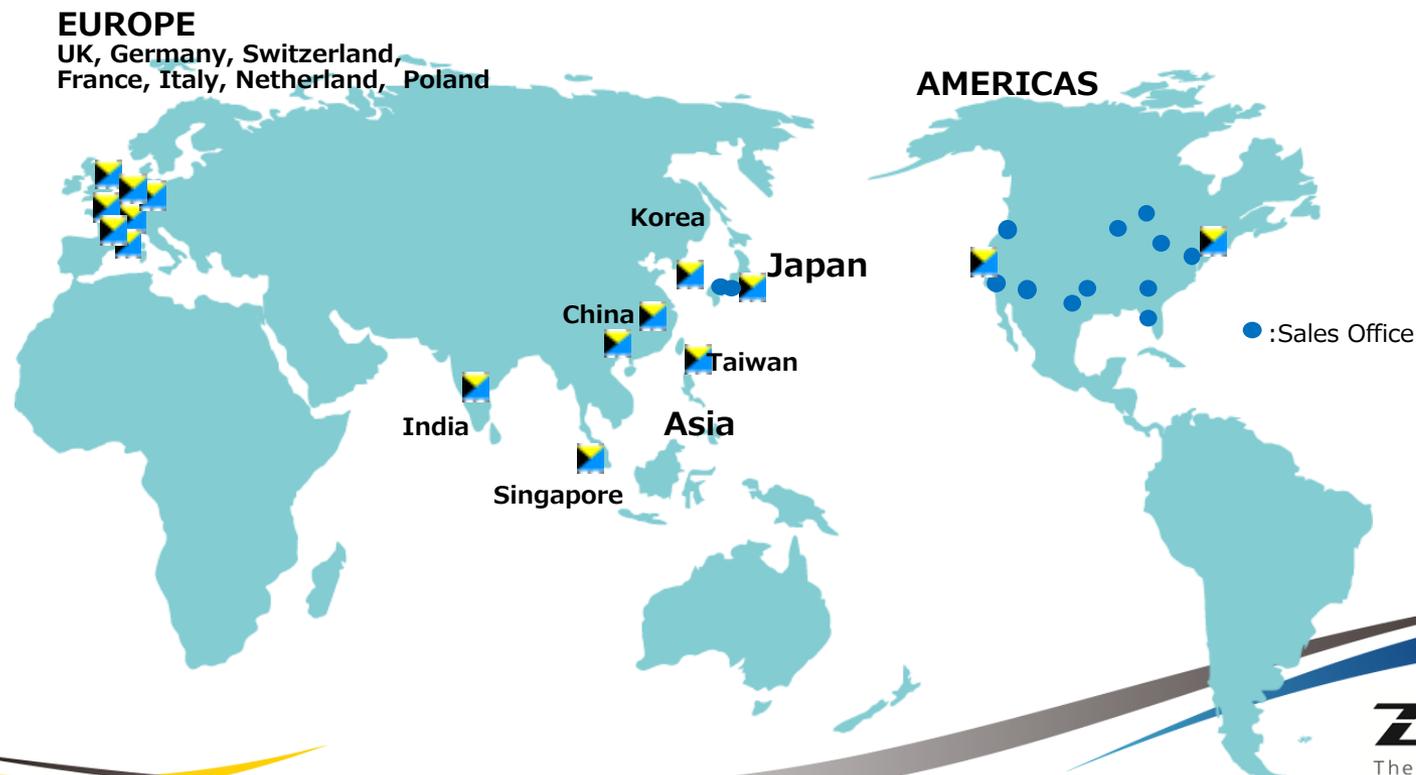
拠点および国内関連会社

本社・中央研究所 横浜市都筑区

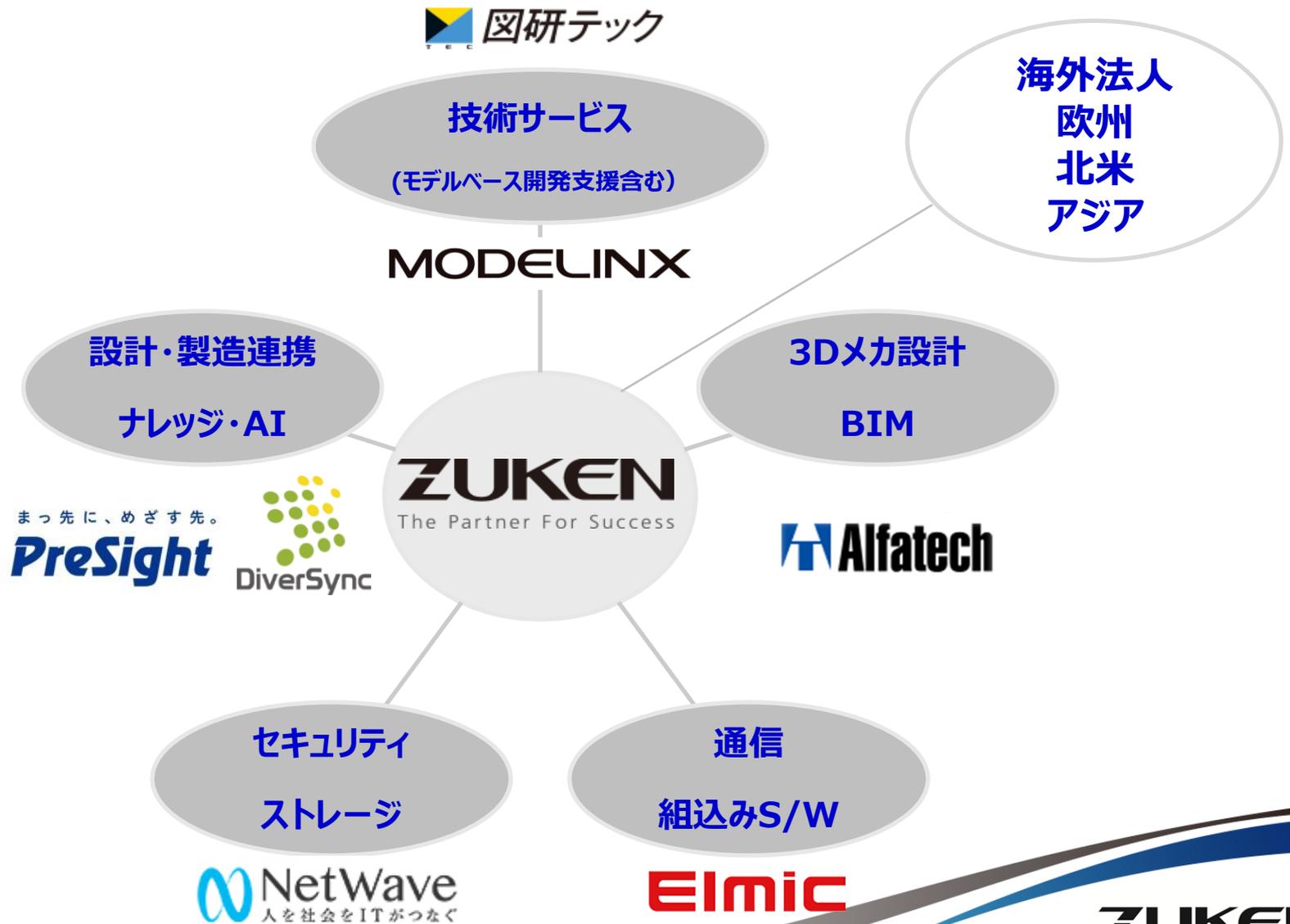
国内拠点 横浜、大阪、名古屋

海外拠点 アジア 5 か国、欧米 8 か国

国内関連会社 7社 (図研テック・図研ネットウェイブ・図研エルミック・図研プリサイト・図研アルファテック・図研モデリンクス他1社)



図研グループ



< 注意事項 >

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績等はこれらの影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。実際の業績等に影響を与えうるリスク・要素には、各国の経済情勢、顧客企業の設備投資の動向、市場の需要動向、製品の開発状況、他社との競合、為替レートの変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

なお、本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する現在の推定を表すものではなく、当社グループが事業戦略を遂行することにより達成しようと努める目標を表すものがあります。

The Partner For Success **ZUKEN**



お問い合わせ先

株式会社 図研

コーポレートマーケティング室

横浜市都筑区荏田東2-25-1

電話 045-942-1511 (代表)